



参加者はぬかる足元に苦戦しながらも、1時間ほど田植えを楽しんだ



昼食時には深川産「ななつぼし」が用意され、自分たちで握ったおにぎりを味わった



田植え体験を楽しむ親子

今年も田植えの時期を迎え、一已地区を皮切りに各地区で田植えがスタートした。5月18日には、(株)ラルズとホクレン主催の「田植え体験ツアー」が深川市で開催され、札幌市の親子など12組35名が参加した。

今年度の管内作付面積は、うるち米ともち米合わせて約9,700haとなっている。このまま好天が続き昨年の分を取り戻せることを願い、地域一丸となって作業した。

～目次～

- ◆きたそらち農協総代決まる — 2～3
- ◆水稻直播研究会 は種作業 — 4
- ◆管内小学校へ 食育教材を贈呈 — 6
- ◆地区担当体制のご紹介 — 10～14

JAきたそらちでは、ホームページとFacebookで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！



きたそらち農協総代決まる

総代候補の推薦(立候補)届を5月10日で締め切り、総代定数370名に対し推薦370名の定数で、全員無投票推薦で決まりました。任期は令和元年5月24日から3年間となります。

当選者は次の通りです。(敬称略)

齋藤 真史	高崎 光昭	加賀美 勇	松田 俊雄	酒井 政充	榎 勝洋	林 祐輔	坂谷内将之	大谷内 清	谷脇 弘之	金川 賢一	山田 淳	金川 隼人	山本 時雄	馬場 章次	影近 敏明	為井 新市	音江地区 55名
-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------------------

若林 武光	星野 敏幸	酒井 一幸	三谷 好美	山崎 靖博	川村 正人	山崎 豊	田中 和夫	余合 敏彰	矢橋 和彦	北山 宏行	加賀美 敦	桑野 良寛	片岡 政幸	駒村與喜秀	馬越 勝美	藤澤 裕	本橋 和枝	東出 周子
-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------

山崎 和徹	寶利 千芳	原 聡	安井 正敏	加藤 奈三	菊地 尚	米陀 直樹	青木 秀明	曾我部 透	斉藤 敏秋	寺本 義隆	市場 雅俊	石川 大輔	宮腰 章	野崎 忠	松原 秀利	渡辺 秀政	山崎 孝	若林 勝
-------	-------	-----	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	------	------

高谷 浩司	中川 啓二	中川 功	高橋 広志	尾崎 雅一	佐藤 孝俊	馬木 逸男	梶田 彰男	野中 和弘	松本 宗和	松本 憲一	阿波 一雅	櫻井 博仁	浦瀧 教幸	高崎 均	糸 一幸	小島 聡一	ムム地区 38名
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	--------------------

但木 博	馳 喜禎	中川 幸生	滑川 真一	伊東 範勝	宮田 勤	酒井 孝雄	曾我 誠一	金谷 良和	近藤 洋介	馬場 一俊	金谷 道宏	江幡 良博	小畑 幸洋	上田 茂之	松下 幹信	小田 幹夫	溝口 勝	小田 浩明
------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------

大井賢太郎	清水 義昭	高瀬 慎司	坂井 幸宏	馬場 勇二	玉置 慶市	和田 憲昌	伊井 清隆	清水 義博	佐々木弘昭	中野 善隆	荒井 和也	荒井 秀章	垣谷 康一	村澤 克巳	(有)村澤農園 神尾 綾子	神尾 誠	山田 剛	折野 哲也	伊藤 裕美	本瀬 修二	米澤 明	増田 貴志	肥塚 信彦	見上 貴信
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------------------	------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------

宮岸 功治	横井 優司	横井 徹	野原 利浩	岩淵 一男	坂田 輝行	砂本 尚紀	須田 守	橋本 健	樋掛 光雄	伊藤 弘明	前田 繁昭	宮島 学	正田 浩貴	岡部 一郎	平田 拓哉	藤川 米光	藤川 豊	石栗 泰	安藤 順三	野原 章弘	小塚 裕貴	寺越 知宏	大森 毅英	原田 純	塩尻 総徳	谷内 雅俊	野原 利文
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------

樺澤 幸司	尾谷 弘三	壺田 武敏	菅原 道廣	河野 繁行	長谷川勝英	長谷川卓也	東 廣明	新谷 隆志	橋本 有由	川中 孝之	尾崎 成宣	金本 豊仁	北原 和夫	水野 静也	野坂 泰弘	吉田 秀昭	鮫澤 公秀	岡田 征雄	荒井 優	奥場 睦泰	水野 勝利	東谷 陽一	五十嵐 剛	星野 弘美
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------

納内地区 32名	東谷 陽一	水谷 政幸	五十嵐 剛	星野 弘美
--------------------	-------	-------	-------	-------

水稻育苗巡回を実施



4月23日から約2週間にわたり、管内各支所で水稻育苗巡回を実施した。今年は全体で715戸の水稻育苗ハウスを巡回し、担当職員が苗の草丈などの生育状況やハウス内の保温、灌水方式、今後の育苗管理について確認した。

巡回した職員は、「昨年や一昨年に比べると、今年は苗の障害がほとんど見られず、育苗も平年並みに順調。日中と夜の寒暖差によりハウス内の温度管理は難しいと思うが、焼け苗や霜に注意し天候や気温に合わせた育苗管理を継続してほしい」などアドバイスした。

販売部

水稻直播研究会 は種作業

5月9日から18日にかけて、水稻直播研究会（五十嵐幸男会長、会員36戸）による今年度の直播は種作業が行われた。「水稻直播」は米の種籾を直接圃場には種する栽培方法で、労力と育苗経費の削減に繋がる。今年度は、同会オペレーター2名とJA職員が8条用の専用は種機を使い、「ななつぼし」や「えみまる」など5品種を約79haの面積に作付した。

担当の米穀課職員は、「天候が良く気温も高く推移しているため、作業は順調に進んでいる。このまま好天が続けば収量に期待が持てる」と話す。

【米穀課 松田】



一季成り苺「けんたろう」の出荷開始

5月8日、春の訪れを感じさせる一季成り苺「けんたろう」の出荷が始まった。

この日は納内地区の尾郷勝さんより粒の大きいDXという規格を中心に20パックが出荷された。

今後は徐々に出荷数量も増え、約4,000パックの販売を見込み、道内市場を中心に6月下旬まで出荷が続く。



【青果課 川本】



青果部

深川特産

「ねばり長芋」の定植作業開始

4月22日、深川特産「ねばり長芋」の定植作業が始まった。

きたそらち長いも生産組合（馬木逸男組合長、9戸）の（株）きはらふあーむ（メム地区）では、トレンチャー作業を22日、植付作業を23日に開始し、トレンチャーで1m程の深さまで掘った溝に、手作業で等間隔に種芋を一つひとつ並べた。

同生産組合では今年度、約4haに作付し、約1万1千ケース、約4千3百万円の売り上げを見込む。収穫は10月下旬から始まり、11月上旬には毎年恒例の「ねばり長芋即売会」を予定している。

【青果課 川本】



「北育ち元気塾」 第2回研修会を開催

4月23日、拓殖大学北海道短期大学にて「北育ち元気塾」の第2回研修会が行われ、元気塾生6名が出席した。

同大農学ビジネス学科の岡田佳菜子准教授より「水田土壌と水稲肥料の基礎」について、同学科の岩谷豊教授から「土壌断面調査」についての実習と講義を受け、水田土壌の特徴や土壌断面調査の方法を学んだ。塾生は実際に手に土を取り、水田土壌の硬度などを確かめた。

空知農業改良普及センターの職員からは、「水稲育苗管理の基礎」について講習を受け、育苗管理の要点や葉数の数え方などを学んだ。

【営農企画課 石野】



農業
振興部

管内小学校へ 食育教材を贈呈

当JAは管内小学校10校に、JAバンクが制作した食育教材「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈した。この教材は、農業や食、環境、またそれらに関わる経済活動などをイラストや写真、グラフでわかりやすく表現しており、次世代を担う子どもたちに農業への理解を深めてもらおうと、平成20年から毎年継続して贈呈を行っている。



今年は5月7日に柏木孝文組合長が深川市立北新小学校を訪問し、同校5年生に教材本20冊とDVDを贈った。教材を受け取った同校の山田禎史校長は、「田植え体験学習などJAにはいつもお世話になっている。農業に興味を持っている児童も多いので、ありがたく活用させていただきます」と感謝を述べた。

【営農企画課 石野】



平成31年度 共済推進大会を開催

4月24日、平成31年度 共済推進大会が開催され、全部署から役職員 123名が参加した。

開会にあたり、柏木孝文組合長は「職員が一致団結し、『組合員、地域住民のために』という気持ちを共有しながら、今年度の目標に向かって進んでほしい。一斉推進では、『何かあったときのJA』ということ組合員の皆様にお伝えし、契約の増加に向けた推進を」と挨拶し、続けて来賓のJA共済連北海道 平建志 岩見沢支所長は「組合員の高齢化や担い手不足という厳しい農業情勢を考えると、この先、共済の新契約をどこまで伸ばすか、また広域市場でどのように戦っていくかがポイントになる。数ある保険会社の中からJAブランドを選んでいただけるよう、本年度もJA職員、共済連一丸となって頑張っていきましょう」と激励した。

大会では目標必達だるまの入壇式が行われた後、金融共済部渉外課 上埜祐輝係が目標達成に向けた力強い決意表明を行い、全職員が一致団結して推進活動を展開していく事を誓い合った。

今年度の推進は、5月30日の納内地区を皮切りに行われる。



金融
共済部



イチヤン支所協和会 花見を実施

5月9日、イチヤン支所協和会（松田隆夫会長、会員95名）は東川町の「キトウシ高原ホテル」で花見を開催し、会員47名が参加した。

桜が見ごろを迎えた「キトウシ森林公園」で散策を楽しみ、新緑を眺めながら温泉で心と体をリフレッシュした。会食では、仮装カラオケで盛り上がり、7月に予定している研修旅行の話題に花を咲かせた。

【融資課 小松】



音江支所 年金友の会 総会開催

4月8日、音江支所年金友の会（正田貞雄会長、会員452名）は第30回総会を開催し、会員32名が出席した。

正田会長による開会挨拶に続き、来賓の近藤育志音江地区代表理事が昨年度におけるJA管内の農業概況を説明し、また日頃のJA事業の利用に対するお礼を述べた。議事では正田会長を議長に選出し、30年度事業報告、31年度事業計画、役員改選について審議し全て原案通り承認された。

また、総会前には深川市高齢者支援課による「高齢期の食事・運動講座」が行われ、健康に向けた食事の摂り方や、実際に身体を動かしながら運動方法を学んだ。

なお、新役員については以下の通り。

【会長】正田 貞雄 【副会長】篠原 有、高 健一

※会長および副会長のみ記載

【金融共済音江支所 梅村】



金融
共済部

深川支所 年金友の会 総会開催

4月25日、深川支所年金友の会（金谷義雄会長、会員597名）が第40回定期総会を開催し、会員58名が出席した。

金谷会長による挨拶に引き続き、来賓の山崎武則メム地区代表理事が昨年度におけるJA管内の農業概況を説明し、また日頃のJA事業の利用に対するお礼を述べた。議事では金谷会長を議長に選出し30年度事業報告や31年度事業計画について審議し全て原案通り承認された。

続いて、深川市高齢者支援課による「腰痛を予防するためにできること」と題した講演が行われ、会員は腰痛が起こる原因や腰痛にならない生活習慣について学び、椅子に座りながらできる認知症予防の体操も体験した。

【金融共済深川支所 大島】



中核人財養成塾 「サムライ塾」開講

組合員の生涯にわたって近くにある存在のJAであるために、当JAでは「優秀な人財をつくり優秀な人財を育て確保すること」と「今後のJAをよりよくするための仲間づくり」を目的に、4月より中核人財養成塾として「サムライ塾」を開講した。



自らの意思で名乗りを上げた7名を第1期生として迎え、4月12日の開講式では柏木組合長、岩田専務より激励を受け、当日は外部研修の一つである石田邦雄氏による講義を受講。また第4回では最善を追求する働き方・生き方の第一歩として“人間力”を磨くきっかけ作りを目的に、高知県にあるネットヨタ南国（ピスタワークス研究所）にて学習した。同塾の講義は1年かけて実施する。

【人事課 中川】

塾生名簿

金融共済部融資課	小松 努	金融共済深川支所	江郷 逸人
総務部総務経理課	山田 雄樹	農業振興部振興課	谷内 健二
販売部農産課	森島 直樹	青果部青果課	川本 雄太
経済部雨竜資材課	田中 大治		



石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第2回

「サムライ塾」の開講に際して

去る4月12日、貴JAの職員研修の一環として「サムライ塾」が開講し、私もスタートにあたりメッセージを送らせて頂きました。

「サムライ塾」とはいかにもいかめしく聞こえるかもしれませんが、逆に企画をする者の「何とか組織風土を前向きに変えたい」とする気概が伝わってくるように感じます。そこで私に与えられた時間は2時間ほど。メインのタイトルを「7人のサムライに期待して」、サブタイトルに「組織を変える、職場を変える、自分を変える」を据えお話をさせて頂きました。この7人のメンバーは塾の趣旨に賛同し、自主的に手をあげられた方々とか。講義中にも自ら学ぼうとする姿勢が垣間見られ、講義をする私にとっても非常に心地のよい時間帯になりました。今後、この7人のサムライ達が核となり、J Aきたそらちの改革はもとより、組合員である農業者の方々のパートナーとしての絆をより一層深め、更に経営理念にもあるように地域への貢献に結びつく…そんな善循環の構図が作られるようにと願ってやみません。

ところで今回はそこで語ったことに関連した内容で話しを進めたいと思います。

ご承知のように、先月から30年ほど続いた元号である平成が令和に変わりました。私事になりますが、中小企業診断士として看板を掲げ独立したのが昭和が平成へと改元したまさにその年でした。そうした意味では私自身は「平成に育てられた」といえるかもしれません。令和という新時代に期待しつつも（実は今上天皇と誕生日が同じ私なのです）どこかで寂しさを感じる気持ちもあります。

この30年あまりの間、お陰さまで随分と多くの団体や企業と関わりを持たせて頂きました。主には人や組織に関連してお付き合いになるのですが、どこにおいても大なり小なりとかくありがちなのが、「何か職場で満足がいけないことがあった」とすると「組織が悪い」「あの上司が」などというように「原因を外に求めがち」になる傾向があるものです。でもどうでしょう？私のこれまでの経験からいえば、「まずは自分が変わる」と…これが問題解決に向けた出発点のように感じます。そうでなければこうした不満の元は「～してくれない」の意識がベースにあります。即ち、うまく事が運ばない原因

は自分ではなく周囲や外にあるわけですから。となると、そうした他者なりが原因を払拭してくれない限り「不満が不満を生む」という心の悪循環の構造に陥るのが一般的です。もしあなたがそうなっていると感じたとしたら、少しそこで立ち止まり反省してみることに。そしてこんな風に視点を変えて考えてみるのが組織の為に、あなた自身の為にも有効かもしれないかもしれません。それは「そんな中で自分に何が出来るか？」です。こうした考え方を「問題意識」といいます。「自分の思うようになっていない」：その状況が同じであったにしても、このようにかたや「不満」、かたや「問題意識」へと二分されるのです。

さて、そんな時のあなたはどちらに属すると思いますか？今回のサブテーマはそうした意味で「逆も真なり」ということで、あえて先述した表現にした次第です。「7人のサムライには誇りを持ち、ぜひその役割を担って欲しい」と期待してやみません。その為にもこんな言葉を送りたいと思います。

「成功の反対は失敗ではなく学ばないことだ」と。

【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏

1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかりやすい研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を結び、人を育む」など多数。



地区担当体制のご紹介

JAでは、組合員と共に地域農業を振興し、より良いJA運営に向けて、全部門職員による地区担当体制を整備しました。

今後、全戸巡回等を通じて組合員一人ひとりとの情報交換・ビジョンの共有を図ってまいりますので、よろしくお願いします。

つきましては、本年度の地区担当体制をご紹介します。※各班長は☆印を表記



音江地区（5 営農組合） 4 班体制

菊丘・音江東・内園



【2列目左より】

岡部慎一郎 係（渉外課）
 畠山倫太郎 係（資材課）

【1列目左より】

谷藤 葉子 係（金融共済音江支所）
 三浦 智子 主査（米穀課）

【枠外上より】

☆小野寺栄治 課長（深川支所営農課）
 山田 雄樹 主査（総務経理課）

音江中央 1



【2列目左より】

高野あゆみ 係（金融共済音江支所）
 松本 大輝 係（深川支所営農課）
 堀 了予 主査（青果課）

【1列目左より】

☆本田 幸永 課長（金融共済音江支所）
 斉藤 基 課長（農産課）
 高橋 直行 課長（資材課）

音江中央 2



【2列目左より】

森島 美希 係（共済課）
 梅村 大輔 係（金融共済音江支所）

【1列目左より】

河原 秀昌 課長（青果課）
 遠藤 茂夫 所長（燃料課音江給油所）

【枠外上より】

☆吉田 拓哉 主査（米穀課）
 石野 泰誠 係（営農企画課）

音江西



【2列目左より】

木島 弘美 主査（青果課）
 森島 直樹 主査（農産課）

【1列目左より】

藁口 悦子 係（金融共済音江支所）
 ☆越智 順哉 調査役（資材推進課）
 佐藤 義幸 課長（総務経理課）

【枠外】

松田 和弥 係（米穀課）

×△地区 (5 営農組合) 3 班体制

北東・芽生



【2列目左より】
 辻 聖也 係 (農産課)
 佐藤美代子 主査 (金融共済深川支所)
 山崎江利子 主査 (資材課)
 【1列目左より】
 江郷 逸人 主査 (金融共済深川支所)
 ☆上月 洋 調査役 (深川支所営農課)
 廣田 淳 課長 (人事課)

南区・芽生 (南菊水)



【2列目左より】
 佐々木祐香 係 (金融共済深川支所)
 土永 美幸 主査 (資材課)
 【1列目左より】
 小島 和也 係 (深川支所深川米穀施設課)
 ☆川田 博行 課長 (米穀課)
 大島 幸男 調査役 (金融共済深川支所)

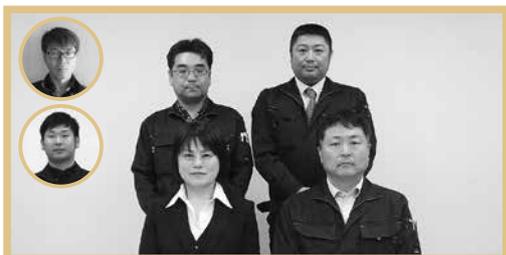
北菊水・巴



【2列目左より】
 浅沼 清枝 係 (金融共済深川支所)
 古川 和也 係 (営農企画課)
 【1列目左より】
 中村 敦洋 係 (資材推進課)
 ☆鷲尾 公敏 課長 (金融共済深川支所)
 川本 雄太 主査 (青果課)
 【枠外】
 田湯 幹也 所長 (燃料課深川給油所)

一已地区 (6 営農組合) 4 班体制

一已第1 (一部)、一已第2



【2列目左より】
 大西 崇之 係 (車両機械課)
 伊藤 信一 調査役 (共済課)
 【1列目左より】
 佐々木美香 主査 (渉外課)
 ☆秋山 眞輝 課長 (振興課)
 【枠外上より】
 中野 智晴 主査 (米穀課)
 松原 健太 係 (畜産課)

一已第1 (一部)、一已第3



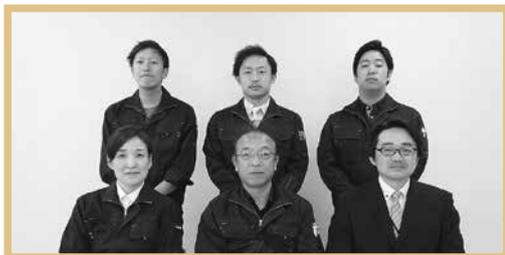
【2列目左より】
 武田 恵理 主査 (青果課)
 上田 由香 主査 (貯金課)
 【1列目左より】
 ☆小野寺修一 課長 (渉外課)
 谷口 満 主査 (資材推進課)
 鈴木 友也 係 (深川支所深川米穀施設課)
 【枠外】
 藁口 達矢 主査 (畜産課)

一已第4、一已第6 (一部)



【2列目左より】
 中村 哲也 係 (資材課)
 山崎 栞 係 (畜産課)
 青山 慶生 係 (融資課)
 【1列目左より】
 山田 慈章 主査 (渉外課)
 ☆畑中 聖人 課長 (畜産課)
 佐野 雄平 主査 (振興課)
 【枠外】
 阿部 孝司 所長 (燃料課イチヤン給油所)

一已第5、一已第6 (一部)



【2列目左より】
 荒井 悠志 係 (深川支所営農課)
 葛西 鈺哉 係 (畜産課)
 植田 隼斗 係 (青果課)
 【1列目左より】
 正田 佳子 主査 (資材推進課)
 ☆渡辺 康貴 考查役 (深川支所営農課)
 小松 努 主査 (融資課)

納内地区 (1 営農組合) 2 班体制

納内 (1 区、北央、成南、北成)



- 【2 列目左より】
 村山 愉香 主査 (農産課)
 ☆宇野 誠一 考査役 (深川支所営農課)
 【1 列目左より】
 平山 直樹 調査役 (金融共済納内支所)
 若林 浩勝 課長 (共済課)
 千葉 智広 係 (資材推進課)

納内 (ときわ、東豊、中央)



- 【2 列目左より】
 飯沼 美智子 主査 (青果課)
 上埜 祐輝 係 (渉外課)
 【1 列目左より】
 岡林 良幸 課長 (深川支所深川米穀施設課)
 ☆小笠原 清 課長 (金融共済納内支所)
 一戸 栄治 主査 (営農企画課)
 【枠外】
 竹田 浩 所長 (燃料課納内給油所)

多度志地区 (2 営農組合) 3 班体制

多度志南 (多度志、東、湯内)



- 【2 列目左より】
 三品 正則 主査 (青果課)
 松本 好人 工場長 (多度志自動車整備工場)
 【1 列目左より】
 中橋美弥子 係 (深川支所営農課)
 ☆池田 光宏 考査役 (深川支所営農課)
 茂泉真由美 主査 (金融共済多度志支所)
 【枠外】
 小石川 正 係 (総務経理課)

多度志南 (第一)、多度志北 (宇摩、幌成)



- 【左より】
 加賀美政俊 調査役 (資材推進課)
 ☆松本 定幸 課長 (金融共済多度志支所)
 渡部 翔也 係 (農産課)
 【枠外上より】
 谷内 健二 主査 (振興課)
 安藤 理沙 係 (渉外課)

多度志北 (幌成、鷹泊)



- 【2 列目左より】
 中村 元 係 (金融共済多度志支所)
 齊藤 綾華 係 (金融共済多度志支所)
 【1 列目左より】
 小野 裕之 係 (畜産課)
 ☆丸岡 章一 課長 (営農企画課)
 三宅 創 主査 (農産課)
 【枠外】
 中村 勇 所長 (燃料課多度志給油所)



雨竜地区（6 営農組合） 6 班体制

南盛



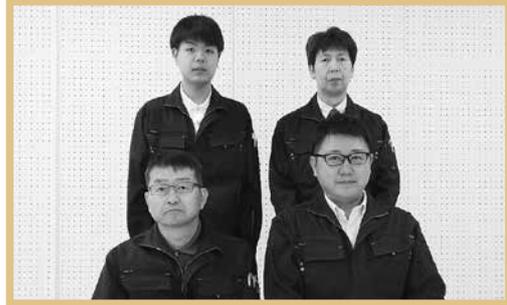
【2列目左より】

堀口 敦暉 係（雨竜支所営農課）
高瀬 伸一 主査（金融共済雨竜支所）
菊入 誠 支所長（雨竜支所）

【1列目左より】

菅井 智乙 主査（米穀課）
☆中川 留美 主査（雨竜資材課）
荒川 美和 係（青果課）

東栄



【2列目左より】

小田嶋祐牙 係（雨竜資材課）
高瀬 伸一 主査（金融共済雨竜支所）

【1列目左より】

広瀬 努 主査（青果課）
☆高木 真樹 課長（雨竜支所営農課）

西



【2列目左より】

松本 拓馬 係（青果課）
玉置 将督 係（金融共済雨竜支所）
伊藤 勝成 係（雨竜支所営農課）

【1列目左より】

谷内たつ枝 係（総務経理課）
☆田中 正之 課長（雨竜資材課）
須見 隆広 係（燃料課）

中央



【2列目左より】

玉置 将督 係（金融共済雨竜支所）
藤本 篤 係（雨竜支所営農課）

【1列目左より】

中川 大樹 調査役（人事課）
相原 明治 主査（青果課）
☆田中 正之 課長（雨竜資材課）

本牧



【2列目左より】

浅沼 昭博 主査（青果課）
盛本 隆一 課長（監査室）
田中 大治 主査（雨竜資材課）

【1列目左より】

白川 敬哲 係（資材課）
☆長谷川正治 課長（金融共済雨竜支所）
斉藤 直寛 主査（雨竜支所営農課）

北友



【2列目左より】

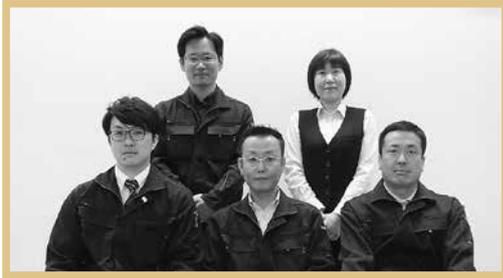
田中 大治 主査（雨竜資材課）
米倉 亮 主査（雨竜支所営農課）

【1列目左より】

内村 奈緒 係（青果課）
☆長谷川正治 課長（金融共済雨竜支所）

北竜地区（10 営農組合） 4 班体制

碧水・岩村



【2列目左より】
高栄 政輝 係（北竜支所営農課）
滝谷 佳子 主査（金融共済北竜支所）
【1列目左より】
古木 亮裕 係（金融共済北竜支所）
☆川本 知弘 課長（北竜支所営農課）
田中 嘉浩 主査（北竜資材課）

恵北・美葉牛・古作



【2列目左より】
伊藤あゆみ 主査（北竜支所営農課）
阿部 龍弥 係（雨竜資材課）
【1列目左より】
☆太田 久志 課長（金融共済北竜支所）
渡辺 巖 調査役（北竜支所営農課）
【枠外】
山田 雅典 係（北竜支所営農課）

板谷・和



【2列目左より】
松本 成悟 所長（燃料課北竜給油所）
平山 幸子 係（北竜資材課）
高橋 麻美 係（金融共済北竜支所）
【1列目左より】
齊藤 利満 主査（青果課）
☆松井 修司課長補佐（金融共済北竜支所）
渡辺 拓也 主査（北竜支所営農課）

西川・三谷・恵竜



【2列目左より】
北島 亜美 係（金融共済北竜支所）
西村 弘美 主査（金融共済北竜支所）
墓田真知子 調査役（営農企画課）
【1列目左より】
薄木 康弘 調査役（総合企画室）
☆武田 裕二 課長（北竜資材課）
中原 淳 主査（北竜支所営農課）

幌加内地区（4 営農組合） 3 班体制

南幌・幌中（一部）



【左より】
清原 柱子 主査（幌加内資材課）
☆楠木 實博 主査（幌加内支所営農課）
麻生 浩伸 係（金融共済幌加内支所）
【枠外上より】
嶺岸 智也 係（幌加内支所営農課）
前田 義則 所長（燃料課幌加内給油所）

幌中（一部）・幌里（一部）



【2列目左より】
前田みゆき 課長（金融共済幌加内支所）
岩本真誉恵 主査（幌加内支所営農課）
【1列目左より】
前野 尚弘 課長（幌加内資材課）
☆曇田 準也 主査（幌加内支所営農課）
【枠外】
大久保佐代未 主査（金融共済幌加内支所）

幌里（一部）・北幌



【2列目左より】
齋藤 悠介 係（金融共済幌加内支所）
三上 妙子 主査（金融共済幌加内支所）
白川 航 係（総合企画室）
【1列目左より】
宮田 光利 工場長（幌加内農機自動車整備工場）
☆荒田 勇次 課長（幌加内支所営農課）
小野 育 調査役（農産課）

金融共済部 貯金課からのお知らせ

キャンペーン期間 / 令和元年6月3日月～9月30日月

JAバンク 定期積金 キャンペーン

- 積立期間: 3～5年 (ボーナス併用可)
- 金利は店頭金利とします

※右記は一例です。ご希望に応じ変更可能です。

	期間	毎月積立額	掛込総額
定期型	3年	28,000円	1,008,000円
	4年	21,000円	1,008,000円
	5年	17,000円	1,020,000円

定期積金を100万円以上契約された方全員に

JAきたそらち産 特産品 プレゼント

特産品の中から
どれかひとつ
お選びください。



※特産品は今年秋の収穫後、11月中旬頃にお届けいたします。

JAきたそらち

本所	TEL 0164-22-6618	多度志支所	TEL 0164-27-2111
江支所	TEL 0164-25-1111	雨電支所	TEL 0125-77-2331
深川支所	TEL 0164-22-2171	北電支所	TEL 0164-34-2280
納内支所	TEL 0164-24-2211	梶加内支所	TEL 0165-35-2024

営農懇談会開催

平成31年3月11日～3月19日
各地区で行われました懇談会内容をお知らせ致します。

●意見要望事項
●対応等

総合企画室

●JAきたそらち『変革ビジョン2030』において、本所機能を営農センターに集約すると説明があったが、詳細について教えて頂きたい。支所金融店舗のあり方も含め。

●本所建物の老朽化が進んでいることから早急な整備が必要であります。本所の整備にあたっては、営農と金融のワンストップ対応を目指すこととし、営農センター周辺に集約することが望ましいと考えられます。各支所の建物も、老朽化が進んでおり、また将来に向けては事業収支も低下することが予測されていますが、単に集約を図ることで解消されるのではなく、組合員の利便性を極力落とさないよう、総合事業として維持していくことを前提に検討を進めて参ります。ただし、組合員数の減少も想定される中、将来に遊休施設を残すことのないよう協議致します。

農業振興部

●第6次農業振興計画期間（H29年～H30年）の「新規就農者及び担い手確保」の実績を教えてください。

●平成29年度の実績と致しまして、経営継承・独立就農1名、雇用就農10名、農業体験実習3名の実績となっております。

●平成30年度の実績と致しまして、経営継承・独立就農2名、雇用就農1名、農業体験実習7名の実績となっております。担い手の育成確保の取り組みと致しまして、新農業人フェア、農大キャリアサポート、移住定住フェア等積極的参加により農業に人を呼び込む仕掛けづくりと受入体制の整備を継続して行つて参ります。

●JAきたそらち『変革ビジョン2030』において「日本一の米産地」水稲作付100,000haを中心とした「きたそらち農業の確立」を掲げているが、目標達成に向けては水稲育苗ハウスの新規・更新の支援策が必要と

考えるので検討頂きたい。

●水張面積の維持を図るためには、水稲ハウスに対する何らかの支援は必要であります。直播栽培の普及拡大等も一つの手法と考えております。地域全体での取り組みであり、賦課金基準の見直し等も踏まえ、第7次農業振興計画策定を取り進めて参ります。

●近年農業の管理体制がRACコードで区分されている事が多い。JAとして生産履歴と一体となった「RACコード」管理の取り組みを考えているか教えてください。

●RACコードは、作用機構分類を示すコードとして、薬剤抵抗性を発達させないようローテーション防除を行うために区分されているものです。

●生産履歴については、農業の登録や使用回数など決められた基準に基づいて適切に生産活動（生産工程管理）を行った内容を記載し、消費者や取引先に対して安全・安心を提供するために取り組んでいるものです。

このことから、RACコードと生産履歴の趣旨は異なるものでありますが、適切で効果的な農業の使用を進める観点から、RACコードの取り扱いについては関係部署と連携し今後検討を進めて参ります。

しかし、現状の生産履歴システムでRACコードを反映させることは、システムの内容、履歴の記載方法（FAX、提出、インターネット等）等により難しい内容であることをご理解願います。

●令和元年度設置計画の「RTK基地局」について、多数ご質問がありましたので一括回答致します。

●RTK基地局については、衛生を利用した測位システムの精度を誤差センチ程度まで高めることができる技術であり、トラクターの自動操舵等に活用するものであります。

●以前から基地局の設置等について検討を進めてきましたが、スマート農業への関心の高まりや、ホクレンが開発したシステムの利用

により負担の軽減が図られることなどから、農協として基地局の設置に向けて検討を進めることと致しました。

●基地局の設置位置については、精度の安定を考えた場合半径20km程度の範囲が望ましいとのことなどから、深川、北竜、幌加内（2カ所）の計4カ所に設置を予定しています。

●また、インターネット回線を使用して位置情報の補正番号を受け取ることから、利用可能範囲は携帯電話の使用が可能な範囲となります。詳細については、6月末頃に説明会を開催する予定です。

●JAきたそらち独自の「営農支援システム」の早期構築をお願したい。

●平成29年度より具体的な導入条件の整備、現状システムとの関連性等の調査を取り進めており、本年度の試験運用を経て令和2年度より現場での迅速な営農指導体制を確立できる本格的運用を目指しております。

●種子法廃止に伴った北海道における「条例等の制定」について、現状把握している範囲で構わないので教えて頂きたい。

●平成30年4月に「主要農産物種子法」が廃止となり、それ以降北海道としては「農業・農村振興審議会」の3回の会議を経て「北海道主要農産物等の種子の生産に関する条例」を平成31年3月6日制定致しました。

条例制定の趣旨は「北海道は我が国最大の食料供給地域としての役割を果たしている。北海道は国民の食生活を支える農産物の将来にわたっての安定的な供給と消費者ニーズに対応した食味や品質、収量などに優れた品種の育成、農産物の供給を支える優良な種子の安定的な生産が不可欠となつている。これらの実現のため、稲・大麦・小麦・大豆・小豆・えんどう・インゲン及びそばといった農産物のうち、普及すべき品種を優良品種として認定する制度や安定的な原種及び原原種の生産、当該優良品種の種子が生産される圃場や生産物の審査、当該優良品種に係る知的財産権の適正な保護を図ること等ついて道・品種育成者・種子生産者・関係機関等が一体となつて

取り組んでいかなければならない。」であり、このような考え方にたつて、主要農産物等の安定的な供給や品質の確保を実現し、本道の農業の持続的な発展に寄与するため、本条例が制定されました。

●ICT対応の農業機械は非常に高額である。機械導入に伴う支援等があれば教えて頂きたい。

●個人への農業機械の支援対策としては、平成31年度当初予算「強い農業・担い手づくり総合支援交付金地域担い手育成支援タイプ」があり、現在申請中であります。また、平成30年度補正予算として「担い手確保経営強化支援事業」が予算組され、当JAとしては8戸の採択を受けた経過にあります。今後、機械等に関する補正予算が組まれた場合は、都度周知を致しますので、ポイント等の条件が可能か担当者と相談の上申請をお願い致します。

●JA北海道大会決議事項に「農業所得の20%増」の目標があったが、当JAの「第6次農業振興計画」における数値目標の達成状況を教えて頂きたい。

●第6次農業振興計画（H29年～H31年）において、米穀については「販売価格

10%増・農産については「反収20%増・畜産については「販売額20%増」・花きについては「正出品荷率10%増」の数値目標を掲げております。平成30年度において達成していない事項もありますが、第6次農業振興計画最終年となる平成31年度、目標達成に向け更なる業務遂行を取り進めて参ります。

●水稲温湯消毒の実績と水稲温湯消毒施設の整備の考え方について教えて頂きたい。

●温湯消毒は、化学農薬を使用せず種子を消毒できることから、安全・安心・低コストなどのメリットがあることから近年希望者が急増し、既存の北竜支所施設では処理が困難な状況となりつつあります。

●農協としましても、温湯消毒を推進する方向であり、新規施設の取得など出来るだけ早期に方向性をお示しするよう検討を進めて参ります。

販売部

●日本一の米産地を目指すとは、「量的なものか」「質的なものか」、どのようなことを目指すのか？

●当JAは、米の生産量全国1位2位を競う米どころ北海道にあって、北海道米

の10%の生産量を担う道内の米の産地であり、この生産基盤をベースに、責任産地として実需・消費者が求める安全安心で高品質なお米を安定供給していくことが求められています。このような状況の中、日本の米産地とは、単に米の生産量一番を目指すということでは無く、米生産に対する産地としての想いや取り組み姿勢も含め、実需・消費者から信頼され選ばれる産地を目指していきたいと

●2019年産米で国は主食米から加工米・備蓄米への転換を促す報道があるが、当JAの主食用米・加工米・備蓄米等の生産に対する考え方は。

●2019年産米の需給情勢については、道外主産地を中心に主食用米の生産意欲が高く需給緩和の可能性もあることから、農水省及び全中では主食用米から非主食用米や加工米、備蓄米等への転換を進めている状況にあります。北海道、また当JAとしても、米の需給と価格の安定を図るため、加工米や非主食用米を含めた需要に応じた米生産を推進することに変わりはありませんが、一方で近年は北海道米の生産量は減少傾向

で道産米を求める需要に答えられない状況が続いており、このままではマーケットシェア低下に伴う道産米の価格水準の低下等が危惧される状況にもあります。

当JAは米を中心とした地域農業の確立を目指しており、実需・消費者からの需要に添えていかなければなりません。現段階の水稲作付意向は「生産の目安」に届いていない状況です。

当JAとしては、まずは生産の目安達成に向けた主食用米の生産を推進することを基本として、その上に加工米や非主食用米の生産及び需給改善に向けた政府備蓄米への協力等、需要に応じた多様な米の生産に取り組んでいきたい考えです。

●平成29年度米価格の説明において、JA独自販売数量の増加により、結果手取り価格の増加につながったと理解して宜しいのか教えて頂きたい。

●平成29年産の手取り価格増加は、近年の道産米全体の評価向上に加え、低タンパク米出荷割合の増加や、JA独自販売メリットを還元できたことが要因と考えます。引き続き販売先から指定頂ける産地として安定生産・安定供給に努め、生産者手取り増加につながるよう販売推進を図って参ります。

●時間外労働の上限規制によつて、小麦・大豆調整貯蔵施設の受入にどの様な影響が考えられるか教えて頂きたい。

●小麦・大豆施設については生受入という事もあり、品質低下の恐れもあることから、最大限収穫適期にあわせた施設運営を実施予定ですが、しかしながら昨年と同様の施設運営では規制の対象となる可能性があるため施設休日の設定、職員配置の再考、外部委託の強化等を複合的に勘案し対応して参ります。

●今年度の主食用米の需給バランスを考えると加工米等へ取り組みも必要と思うが、業者との直接取引も視野に入れ主食米の高値販売を要望する。

●直接販売については年々増加傾向にあります。一方で系統販売における複数年契約についても増加しており、安定的な販売先確保による価格安定にも寄与しております。本年以降も系統・系統外含め生産者手取りの最大化を目指し、販売推進を図つて参ります。

●精米施設が本年度から稼働する。今後の新規市場開拓販売計画について教えて頂きたい。

●新精米施設稼働に併せ、

昨年より道内外の取引先と交渉を行つており、主にスーパー等の主食用、外食・中食等の業務用販売を計画しております。道外販売を含め検討しておりますが、流通経費が負担となるため、道内にウエイトを置いた推進を図つて参ります。

青果部

●GAP制度について、昨年度より各青果部会単位で取り組んでいる経過にある。最終的に第3者認証機関での認証(JGAP等)を取得し販売戦略の一つとして方向性を出すのか教えて頂きたい。

●農業生産工程管理(GAP)の取り組みについては、各生産者が改めて作業内容を確認し対策を考える事で、作業事故や食品事故のリスクを減らせることができると考えています。本年、JGAP指導員の認定を取得した職員による巡回指導を進め、販売戦略の一つとして認証取得ができればと考えています。

●青果・花きハウス導入支援対策について、既存ハウス更新助成は作付が条件となり、2棟程度であれば秋に設置し次年度作付が可能であるが、春の設置の場合、

●当年の作付に間に合わない。1シーズンの猶予対策は出来ないか？また、既存更新の助成率は30%以内となっているが、50%以内の助成率を要望する。

●既存ハウス更新助成はハウス設置後、作物の栽培から収穫までを基本としており、資材購入後作付け出来ない場合は、次年度の事業対象となりますので事業内容をご理解の上ご検討願います。また、助成率については限られた予算で振興対策を組んでいることからご理解をお願い致します。

●雨竜育苗施設で生産される苗の価格について、出来るだけ値上げしないように要望する。

●雨竜育苗施設については、園芸作物の栽培面積の減少により受注本数が減少している状況です。平成29年には価格改定を致しましたが、その後の資材費及び修繕費、人件費の値上げ等施設管理費が増加しているため、価格の改定をお願い致しました。今後はコスト削減を徹底し、少しでも組合員の要望に添えて参ります。



経済部

●水稻育苗ハウスで使用する農薬について残留が無い薬剤は無いのか？処理剤の開発はされているのか教えて頂きたい。また、デラウス剤の残留基準値が見直されないのか教えて頂きたい。分析に伴う料金は生産者負担かも教えて頂きたい。

●水稻育苗ハウスで使用されている「いもち病」及び「イネドロオイムシ」に対する薬剤で、土壌や後作物へ残留の心配がない薬剤は、現在のところございません。影響の有無、期間等の情報整理を進めておりますが、安全面において問題ない薬剤はなく、引き続き食用作物の後作は避けて頂くようお願い致します。デラウス剤の残留基準値につきましては、国の基準値見直しに向け前向きに動き出したとの情報がございます。進展ございましたらお知らせいたします。土壌、生産物の残留分析につきましては、個人負担となっております。ご依頼される場合は、経済部資料課、又は青果部までお問い合わせください。

●スタンド給油時にカードが無いと支所によつては給油できない場合がある。給油できるよう対応頂きたい。

●給油所における売上ミス等事故を防止するため、給油カードをご持参頂きますようお願い致します。

深川支所

●深川支所営農課の今後のあり方について教えて頂きたい。

●深川支所はこれまで、地区毎に担当課長1名と女性担当1名の縦割り体制でしたが、今後は支所営農課長の下に各担当者を配置して、深川支所として市内組合員の対応を総合的に行つていく体制を徐々に構築していきます。尚、当面は課内の地区担当責任者を明確にして、組合員に混乱が生じないよう配慮しながら取り進めて行きますので、ご理解の程よろしくお願い致します。



農業振興部からのお知らせ

巡回ドックのご案内

あなたの健康は家族の幸せの第一歩!!
年1回のドック受診をおすすめいたします。

巡回ドック日程と場所		
8月6日(火)	JAきたそらち 営農センター	深川市メム10号線山3線
8月7日(水)	JAきたそらち 北竜支所	北竜町字和36番地の3
8月8日(木)	JAきたそらち 雨竜支所	雨竜町字満寿30番地の193

巡回ドック健診項目		※以下項目は、一定の基準により医師が必要と認めた場合に実施します。
基本的な項目	特定健診、がん検診	心電図、眼底検査、貧血検査、血清クレアチニン検査

巡回ドック検診料金 ※加入保険により検診料金が変わります。						
市・町	国保	後期高齢者医療	社保(本人)		社保(家族)	
			34歳以下	35歳以上	39歳以下	40歳以上
深川市	15,552円	15,552円	16,200円	18,522円	16,200円	15,552円
雨竜町	17,809円	17,183円	16,200円	18,522円	16,200円	17,183円
北竜町	15,444円	15,444円	16,200円	18,522円	16,200円	15,444円

※国保で39歳以下の方は16,200円となります。

市・町・JAの助成後の検診料金	※JA助成金(5,000円)対象は、正組合員及び同居している家族・農業に従事している家族です。准組合員の方は対象外です。 ※社会保険の方の金額は、協会けんぽへ申込後の金額です。
-----------------	---

○深川市

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
34歳以下	11,200円	-	11,200円	11,200円
35歳～39歳	11,200円	-	2,038円	11,200円
40歳～74歳	0円	-	2,038円	0円
75歳以上	-	616円	-	-

※以下項目を、一定の基準により医師が必要と認め検診を実施した場合は別途料金がかかります。ただし、国保で40歳～74歳の方は市の助成があります。心電図1,404円、眼底検査626円、貧血検査227円、血清クレアチニン検査108円

○雨竜町

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
29歳以下	11,200円	-	11,200円	11,200円
30歳～34歳	2,884円	-	2,884円	2,884円
35歳～39歳	0円	-	2,038円	0円
40歳～74歳	0円	-	2,038円	0円
75歳以上	-	0円	-	-

○北竜町

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
34歳以下	11,200円	-	11,200円	11,200円
35歳～39歳	11,200円	-	2,038円	11,200円
40歳～74歳	4,828円	-	2,038円	4,828円
75歳以上	-	10,444円	-	-

※以下項目を、一定の基準により医師が必要と認め検診を実施した場合は別途料金がかかります。

心電図1,404円、眼底検査626円、貧血検査227円、血清クレアチニン検査108円

***** 留意事項 *****

- 各市町からの助成を受けるためには、検診結果が各市町に提供されることに同意する事が必要です。
- 上記以外に前立腺がん検診やB型・C型肝炎検査などのオプション検診が用意されております。
- 平成31年4月1日以降発行の「特定健康診査受診券」を、すでに掛かりつけの病院等で使用された方につきましては市町の助成金はありません。
- 巡回ドック受診の際には「健康保険証」と「特定健康診査受診券」を忘れずにご持参下さい。

☆お申し込み方法や日程などの詳細につきましては、各支所の人間ドック担当者へお問い合わせ願います。

 健康百科

腰痛の考え方

みきた整形外科クリニック 院長 三木田

光



腰痛は原因の明らかな腰痛と原因の明らかなでない腰痛（非特異的腰痛）に分類されます。原因の明らかな腰痛として腫瘍（原発性、転移性脊椎腫瘍）、感染（化膿性脊椎炎、脊椎カリエス）、外傷（椎体骨折）の3つがあり鑑別が重要となります。その他腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、脊椎すべり症など腰痛と同時に下肢痛や下肢しびれなどの神経症状を伴うのが特徴です。

非特異的腰痛は前述した明らかな原因のない腰痛の総称となります。ここでは原因の明らかなでない非特異的腰痛について説明します。

職業別に見た有訴率は保安職41・7%、看護職66・34%、事務職41・6%、管理職40・3%、運転職73・5%と事務職に比べ運転職の腰痛の頻度が高いと報告されています。生活習慣としては、運動不足は腰痛のリスク因子となりますが、体幹筋力そのものより運動の継続が大切と言われています。腰痛発症後は、安静臥床よりも活動性を維持することは腰痛再発を予防するために有用です。

腰痛の薬物治療は鎮痛剤のみの時代に比べアセトアミノフェン、オピオイド、抗うつ薬など多くの薬が使用可能となり

ました。腰痛の物理療法として腰痛の場合急性期であっても腰部を温めることが疼痛緩和につながることがあります。牽引療法は下肢痛を伴わない腰痛には推奨できませんが、坐骨神経痛を伴う患者には選択肢になります。腰痛のコルセットは軟性コルセットが用いられ、既製品や採寸して作成するオーダーメイドコルセットなどがあります。

疼痛、機能回復、腰痛予防に有効であるとする論文が多数あります。腰痛の運動療法には大きく分けて8種類①通常の活動性維持②エアロビック（ウォーキングやサイクリング）③アクア（プール内リハビリテーション）④直接的腰痛体操（マッケンジー法など）⑤柔軟性訓練（ヨガなど）⑥固有受容促進・協調運動（不安定板やポール運動など）⑦安定化運動（腹筋や体幹筋を標的とした低負荷運動）⑧筋力強化（重量挙げなど）があります。慢性腰痛に対する運動療法の効果を否定する論文はなく、強く推奨される治療法です。現時点で最適な運動の種類は明らかになっていませんが、腰痛患者さんにあつた運動を継続させることが大切です。

クールビズの取り組みを開始しました

地球温暖化抑止のため温室効果ガスを削減するべく、JAグループとしてもクールビズの取組みを例年一体的に実施しております。

当JAにおいても5月27日(月)より開始し、全部署で「ノーネクタイ」「ノー上着」にて業務にあたっております。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様定期的に伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを「ご覧ください」。

JA北海道中央会

JAグループ北海道は、4月12日、札幌駅・地下歩行空間で開催された

「JPO1まつり」で食と農・JAの魅力伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP(ジエイエイジャンプ)」のダウンロードキャンペーンを実施し、400名を超える方々にダウンロード頂きました。

「JPO1まつり」はフリーマガジン「JPO1」に掲載された企業・団体を中心となり出展するイベントで、道内から4JA・1連合会も出展しました。

「JA2MP」配信開始から2年が経ちましたが、ダウンロード総数は20,138(4月12日時点)となり、2万ダウンロードを突破しました。



JA北海道信連

JAバンクでは、子どもたちに食や農業の大切さを理解して

もらうきっかけとなることを願い、平成20年度から、食農教育等をテーマとした教材本を製作し、JAを通じて道内の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道1,059校の小学校および特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは、北海道教育委員会へ教材本の贈呈を行い、教材活用への協力をお願いしました。



北海道教育委員会 教育長(写真右)へ贈呈



ホクレン

ホクレンでは北海道内の料理人らを主な対象に

した北海道ナチュラルチーズ特別セミナーを札幌グランドホテルで開催し、道内チーズ工場の生産者による講演やナチュラルチーズの特長を生かした料理の実食、盛り付けの専門家によるデモンストレーションなどを紹介し、道産チーズの魅力を伝えました。

講演では北海道産チーズのレベルの高さや、それを維持していくことの大切さなどが解説され、

試食会では道内工場のチーズをふんだんに使った料理レシピ5品が紹介され、ナチュラルチーズの豊かな風味がPRされました。



JA共済連北海道

JAのこども共済「学資応援隊」がマリオコミ大賞2019春学資保険部門 第1位に選ばれました。

「マリオコミ大賞」とは、ママ向けアプリ「ママリ」がユーザーを対象に、本当に買ってよかったと思う商品・サービスについてアンケートを実施し、口コミ件数と満足度を基準に支持が多かった上位商品を紹介する取組みです。

JA共済連は、これからもお客様にご満足いただけるように努めてまいります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業

の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

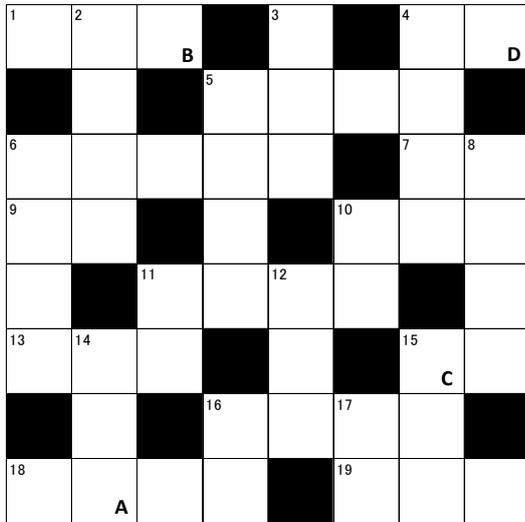
年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご読ください。



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

【タテのカギ】

- 木や石、動物の角などに名前を彫ったもの、はんこ
- 水田に稲の苗を植えること
- 2本の竹や木の棒に足場を付けた子どもの遊具
- 約束を守るしるしに、互いに指を絡み合わせること
- ザラメを溶かし綿状にしたお菓子、縁日で人気
- 自動車の現在位置や目的地への経路案内を行う電子機器
- 獣から作物を守るため木や竹を組んで作る囲い、フェンス
- 金属製の容器、スチール製やアルミ製が一般的
- でんぷんと作用して青紫色になる物質、元素記号はI
- ユーラシア大陸に属する巨大な連邦国家、首都はモスクワ
- 酸っぱい味
- 英語やオランダ語で気体のこと
- げっ歯類の小型動物、歯が鋭く尾が太くて丸い

【ヨコのカギ】

- 日本のテレビアニメ「アルプスの少女○○○」
- 東南アジアに位置する君主制国家、首都はバンコク
- 日没の頃、西の地平線に近い空が赤く見える現象
- 若葉の頃・田植えの頃の冷え冷えとした気候
- 昆虫のさなぎが成虫になり羽がはえること
- 牛・豚などの舌の肉
- 英語で夏のこと
- 火が燃えるときに出す熱の力
- 夏の果物、北斗○○○、暑寒○○○、ひまわり○○○
- 金属が空気や水にふれて、その表面にできる酸化物
- 自動車や船、航空機などのエンジンを動かすための燃料油
- 砂漠の中で、水がわいて木が茂っている場所
- 住むところ、動物などが住んでいるところ

4月号の正解は

「オハナミ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 佐藤 睦子 様
 深川市 生澤 典子 様
 深川市 金森テル子 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上応募下さい。

締切6月30日消印有効で当選者とクイズの答えは8月号に掲載します。

【送り先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課

FAXの場合は 0164-22-8611

五月俳句

● 雨竜俳句会

囀りが笛となる朝早く起き
 親すずめ納屋の節穴子育て中
 来客の春の靴音軽やかに
 鳥群れて過行く里の長閑なり
 春めくや古希過ぎ学ぶ英会話
 鳥の声喧し北の春田かな
 古希迎え少し派手かな春セーター

有田 茉莉
 大林アヤ子
 北川 満江
 小山 邦男
 松木 五月
 宮武めぐみ
 吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

凜凜しきは御衣木になる木夏木立
 大声は恋の蛙の負け惜しみ
 家訓なく育てし子等やつくづくし
 山白く炎の落暉夏近し
 生命の輝く地球若緑
 夕立やいつしか忘れ上手なり
 副菜に一品加え朱夏来る
 昭和から令和へ三音五月かな

山本 玲子
 阿部れい子
 吉尾 広子
 山岸 正俊
 山下 好晴
 佐光久美子
 杉本 隆文
 高田 紀子

● 土筆俳句会

球児等の青刈り軽し更衣
 白鳥の帰心地を蹴り翼煽る
 カレーライス焦げる臭いし厂帰る
 日をもらい雪解雫の乱拍子
 赤帽子かぶる地蔵や春祭
 令和なる新たな御代や聖五月
 下萌えや若きが祈る里地蔵

高尾美津子
 池田 美知
 坂本 朱実
 引地紀代子
 山川 輝子
 南川富美子
 小橋 厚子

第4回理事会 〈平成31年4月9日開催〉

1. 関係団体等諸会議について

- 議案第1号 組合長、専務、常務の選任について
- 議案第2号 代表理事の選任について
- 議案第3号 会長の選任について
- 議案第4号 地区代表理事の選任について
- 議案第5号 委員会委員の構成について
- 議案第6号 理事の順位の決定について
- 議案第7号 理事報酬額及び支給方法の決定について
- 議案第8号 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について

- 議案第9号 常勤理事の事務引継に係る立会人の指名について
- 議案第10号 総代選挙各管理者、立会人等の決定について
- 議案第11号 行政庁への業務報告書の提出について
- 議案第12号 組合員の出資金持分譲渡について
- 議案第13号 JAきたそらち 農産物検査運営協議会 規程の一部改正について

第5回理事会 〈令和元年5月9日開催〉

- 1. 関係団体等諸会議について
- 2. 組合員の加入脱退について
- 3. 財務報告及び事業実績について
- 4. 職員の人事について
- 5. JAバンク基本方針に基づくJA財務モニタリングの報告について
- 6. 役員の事務引継について
- 7. 「組合員意向調査」の集計結果及び取り扱いについて
- 8. 令和元年度 組合員との密着力強化対策について
- 9. 第7次中期計画の策定とスケジュールについて
- 10. 貸出実行報告について
- 11. 令和元年度 共済一斉推進日程について
- 12. 営農懇談会・総代協議会における意見集約について
- 13. 令和元年「北育ち元気塾」の受講生について

- 14. 令和元年「農地耕作条件改善事業」に係る整備計画について
- 15. 令和元年産米の水稲作付意向に係る推移について
- 16. 令和元年「担い手PT」「法人PT」の活動計画について
- 17. 令和元年農業労働力確保に向けた取り組みについて
- 18. JAきたそらち青年部における元気村夢の農村塾 協力依頼の対応について
- 19. 酪農学園大学・北海道大学との田植え時における労働力の連携について
- 20. 米在庫状況とホクレン米出荷業者別取扱数量について
- 21. 畜産販売実績について
- 22. 青果・花き販売実績について
- 23. 経済部事業実績について

- 議案第1号 組合員の出資持分譲渡について
- 議案第2号 固定資産の取得について
- 議案第3号 役員と組合との取引基準について
- 議案第4号 貸出金の貸付決定について
- 議案第5号 理事に対する貸出承認について

議案第6号 クミカン貸越極度額の変更について

組合員の動き

(平成31年4月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,402	7	17	1,392
	団体	85	0	0	85
准組合員	個人	5,988	27	21	5,944
	団体	329	1	0	330
正組合員戸数		1,015	1	8	1,008

- 1. 令和元年産米の取扱について
- 2. 令和元年産 特定米穀出荷契約及び予約前渡金について
- 3. 令和元年産 「玄そば」の取扱について
- 4. 令和元年産 農産物予約前渡金及び概算金について



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○平成31年4月実績

○累計 (H30.12~H31.4)

発電電力 **71,685kWh**

発電電力 **183,935kWh**

計画対比 + 15,404kWh

計画対比 + 53,594kWh

前年対比 + 8,842kWh

前年対比 + 6,722kWh

報告事項
提出議案

報告事項

提出議案

協議事項

金融共済部 貯金課からのお知らせ

キャンペーン期間 第1弾 / 令和元年6月3日(月)～7月31日(水)

第2弾 / 令和元年11月5日(火)～12月27日(金)

ボーナスはJAきたそらちの定期貯金へ

JAきたそらち

ご愛顧感謝 2019 キャンペーン

定期貯金

Time Deposits

適用金利

0.08%

正組合員および准組合員の方
または新たに准組合員になれる方

期間中
新規で定期貯金を
ご契約いただいた方に
金利上乘せ

定期貯金

Time Deposits

適用金利

0.03%

組合員以外の方

JAカード一体型を新規でお申し込み
または
現在お持ちの方は

さらに 0.03%^{上乘せ}

■取 扱 対 象 / 個人のお客様

■受入対象金額 / 10万円以上、新規のみ(定期貯金の中途解約、満期書替からのお申し込みはお断りさせていただきます)

■受入対象期間 / 1年スーパー定期(自動継続)

大口定期貯金(自動継続)

(満期後は店頭標準金利にて同一期間の自動継続となります)

■期 限 前 解 約 / 中途解約の場合は、当組合所定の中途解約利率を適用させていただきます。

※准組合員の加入には一定の条件があります。詳しくは窓口へお問い合わせください。

JAきたそらち

本 所	TEL 0164-22-6618	多度志支所	TEL 0164-27-2111
音 江 支 所	TEL 0164-25-1111	商 電 支 所	TEL 0125-77-2331
深 川 支 所	TEL 0164-22-2171	北 竜 支 所	TEL 0164-34-2280
納 内 支 所	TEL 0164-24-2211	幌 加 内 支 所	TEL 0165-35-2024